

日本王者・木村章司、6月8日、後楽園ホールで初防衛戦！

2月25日、見事なワンパンチKO勝利で日本スーパーバンタム級タイトルを3年5ヶ月ぶり奪回した木村章司(31歳)の初防衛戦が決定した。6月8日(月)後楽園ホールで日本同級6位・金沢知基選手(26歳=角海老宝石)相手に行われる。

2月度東日本ボクシング協会の月間賞選考で最優秀選手、そして2009年度チャンピオンカーニバル最優秀選手にも選ばれた王者・木村は世界ランキングもWBA10位、WBC12位まで上昇。先(世界)が再び見えてきた現在、プレッシャーのかかる初防衛戦とはいえ、ここはしっかりとクリアして次に繋げたいところ。挑戦者・金沢選手は今年1月、当時日本5位の中嶋孝文選手(ドリーム)に3回TKO勝ちし、日本ランク入りした勢いのある新鋭。左フックを決め手に持つ右のボクサーファイターでデビュー7年目にして初のタイトル挑戦となる。両選手とも一発で試合を決める武器を持つだけにスリリングな展開必至の目が離せないタイトルマッチとなりそうだ。戦績は木村が26戦22勝8KO2敗2分。金沢選手は17戦12勝6KO3敗2分。

【チケット】リングサイド席:1万円 指定席:5千円 先着順自由席:3千円 【お問い合わせ先】花形ジム Tel.045-932-0980
【TV】「ダイヤモンドグローブ」としてフジテレビ(地上波)で当日深夜録画中継、フジテレビNEXT(CS)で実況生中継

王座挑戦経験者・立木正祥、3年ぶりの復帰戦で12位に勝利！

日本タイトル挑戦経験もある元日本バンタム級8位・立木正祥(33歳)が約3年ぶりの復帰戦を4月7日(火)後楽園ホールで日本バンタム級12位(08年度全日本同級新人王)古橋大輔選手(新田)相手に行い、2-1の判定勝ち(77-75、77-76、76-77)を収めた。立木は初回からサーシャ・バクティン選手(現OPBFバンタム級王者)と拮抗した勝負に持ち込んだテクニックを駆使し、随所に左のカウンターを決めてポイントを重ねる。終盤戦は長期ブランクの影響から、さすがにスタミナが落ち相手の攻勢が目立つ展開になったが、決定打を許さず判定に持ち込んだ。「今日は初めて試合場に両親を呼んでいたのが何でも勝ちたかった」とコメントした立木。スキルフル(巧みな)・サウスポーが再び日本タイトル奪取へ向けて走り出した。

元日本王者・菊井徹平、1年4ヶ月ぶりの再起戦で判定勝ち！

世界挑戦経験者でもある元日本スーパーフライ級王者・菊井徹平(30歳)が4月7日後楽園ホールで一昨年11月、日本バンタム級タイトル挑戦(判定負け)以来、約1年4ヶ月ぶりの再起戦に挑み、石本康隆選手(27歳=帝拳)相手に2-1の判定勝ち(77-76、76-75、76-77)を飾った。7回終盤に強烈な左を喰い、最終回はかなり追い込まれた菊井だったが、4回までの左ストレートを中心とした攻撃で着実に稼いだポイントで逃げ切った。菊井は「久々のリングで緊張した。最終回はまとめてパンチをもらってしまったが気持ちはしっかりとしていた。まだまだ勉強です」とコメント。ジムとしては年内にまずは日本ランクを狙わせる方針。

元OPBF、日本王者・福島学、6月8日に小野澤選手と対戦！

先日(3/7)、久永志則選手(22歳=角海老宝石)とのランカー対決を制した日本バンタム級5位(元OPBF東洋太平洋、日本スーパーバンタム級チャンピオン)・福島学(34歳)が6月8日(月)後楽園ホールで木村×金沢戦のアンダーカードに出場することが決まった。日本ランカーと引き分けた実績を持つ、A級ライセンス・小野澤洋次郎選手(27歳=ワタナベ)とフェザー級8回戦で対戦する。前戦(久永戦)の内容が関係者の間で評価が高く、完全復調目前まで来た福島。ランク入りを狙うノーランカー相手でも前々戦同様プレッシャーがかかる一戦となるが、キャリアを生かしたボクシングでの完勝を期待したい。

A級・和田直樹、田畑光輝、伊藤圭太らが日本ランクに挑戦！

A級ライセンス3名がそれぞれ日本ランカーとの対戦が決まっている。まず5月26日(火)後楽園ホールで和田直樹(26歳)が日本ウェルター級10位・十二村喜久選手(25歳=赤城)とウェルター級8回戦で対戦する。和田は昨年8月、柴田明雄戦(判定負け)以来、2度目の日本ランク挑戦となる。次に7月20日(月)後楽園ホールで田畑光輝(26歳)が日本フライ級8位・藤井龍二選手(28歳=角海老宝石)とスーパーフライ級8回戦で対戦する。田畑は一昨年12月、原口清一戦(判定負け)、昨年4月、升田貴久戦(判定負け)に続いて3度目の日本ランク挑戦。そして7月29日(水)後楽園ホールで伊藤圭太(28歳)が日本スーパーバンタム級8位・塩谷悠選手(28歳=川島)とフェザー級300gアンダーの56.8kg契約8回戦で対戦する。伊藤は初の日本ランク挑戦。新しい日本ランカーが立て続けに誕生することを大いに期待したい。

□ランキング(4月26日現在)

※先日12位を下した立木は4/24発表の日本ランキングではランクインならず。。

【世界】木村章司(WBA世界Sバンタム級10位・WBC同級12位) 猪崎かずみ(WBC女子世界Sフライ級7位)

【日本】木村章司(日本スーパーバンタム級チャンピオン) 福島学(日本バンタム級6位)

※最年長世界タイトル奪取を目指すWBC女子世界Sフライ級7位・猪崎かずみ(46歳)が木村×金沢戦(6月8日後楽園)アンダーカードで「エキシビジョンマッチ」を行います。

◆試合結果(4月17日迄)

小野心、日本3位とドロー。。佐藤、ラストファイトで熱闘!

日付・場所	試合名・階級	選手名	結果	対戦相手
3月7日(土)後楽園	8回戦・Lフライ級	小野 心	△8回引き分け	斉藤直人(角海老宝石)日本3位
・2度目のランク挑戦の小野心。最終回こそ攻勢を許すも、初回から左を中心とした攻撃でポイントアウトしたかに見えたが3者3様のドロー。10勝2KO3敗1分				
3月7日(土)後楽園	8回戦・Sバンタム級	福島 学	○5回負傷判定勝ち	久永志則(角海老宝石)日本4位
・ランカー対決の福島。結果こそ自身のカットが原因での負傷判定となったが、ホープ相手に終始テクニックで上回る試合内容で完勝!34勝19KO8敗4分				
3月12日(木)後楽園	6回戦・フェザー級	伊藤 圭太	○2回TKO勝ち	内山卓也(F・I)
・A級資格を持つ伊藤。初回から左右のロングフックで優勢に試合を進める。2回終了間際連打で相手を追い込みレフェリーストップ勝ち!7勝3KO8敗1分				
3月18日(水)後楽園	8回戦・51.7kg契約	田畑 光輝	○8回判定勝ち	大嶽正史(石橋)
・A級2連勝狙う田畑。初回から実力者相手に激しい打ち合いを展開する。打ち終りに被弾もあったが、アグレッシブが評価され2-1の判定勝ち!9勝5敗3分				
3月19日(木)後楽園	8回戦・フェザー級	中川 健司	●8回判定負け	松本良一(角海老宝石)
・比国王者に破れて以来の中川。この日は一発を当てても後続打がもう一つ出ない。終始相手のペースで戦ってしまい、0-3の判定負け。8勝2KO4敗1分				
3月30日(月)後楽園	東日本新人王トーナメント(Sフライ級)	間庭 章文	●4回判定負け	伯耆良之(ワタナベ)
・約5年半ぶりの間庭。試合勘がもう一つ戻っておらず、中々追い込めない。最終回こそようやく良い形に持ち込むも届かず1-2の判定負け。2勝2KO1敗				
4月7日(火)後楽園	6回戦・54.5kg契約	田村 啓	●6回判定負け	片桐秋彦(新田)
・A級資格持つ田村。序盤は接近戦で優位に立つところもあったが、中盤以降、相手の右に苦しむ。最終回の攻撃届かず0-3の判定負け。6勝2KO15敗1分				
4月7日(火)後楽園	4回戦・ミニフライ級	花形 冴美	○3回TKO勝ち	松島利也子(新田)
・初勝利を狙う花形。初回から右ストレート、左フックを中心とした積極的な攻撃で優勢。3回中盤、連打からの右を決めたところでTKO勝ち!1勝1KO1敗				
4月7日(火)後楽園	8回戦・フェザー級	佐藤 昭	●6回TKO負け	小野澤洋次郎(ワタナベ)
・引退試合の佐藤。渾身の右アッパーで時折見せ場を作っていたが、6回、相手の的確なヒットが目立つ中で左フックをもらい無念のストップ。6勝1KO14敗				
4月7日(火)後楽園	8回戦・バンタム級	立木 正祥	○8回判定勝ち	古橋大輔(新田)日本12位
・今回、1ヶ月半の期間内で15kgも落として復帰戦に臨んだ立木。今後はコンスタントに日本トップクラスのテクニックを魅せてもらいたい。12勝2KO6敗2分				
4月7日(火)後楽園	8回戦・バンタム級	菊井 徹平	○8回判定勝ち	石本康隆(帝拳)
・内容は決して満足のいくものではなかったが、久々の試合でノーランカー(石本選手)とはいえ実力者相手に勝利した結果を高く評価したい。22勝4KO7敗				
4月17日(金)後楽園	東日本新人王トーナメント(Sバンタム級)	小野 成大	●1回TKO負け	星野裕匡(ヨネクラ)
・2勝目狙う小野(成)。スタートから攻勢に出て、右でチャンスを作ったが、追い込んだところで相手の右のカウンターに屈してしまった。14戦1勝12敗2分				

※佐藤昭は8月3日で37歳を迎える為、4月7日の試合で引退となりました。長い間御声援ありがとうございました。

◇試合予定

花形冴美、黒田陽子ともに木村戦(6/8)のアンダーカードに登場!

日付	場所	選手名	戦績	ラウンド	クラス等
5月22日(金)	後楽園ホール	大平 剛	3戦2勝1分	4回戦	東日本新人王トーナメント(ミニマム級)
5月26日(火)	後楽園ホール	和田 直樹	13戦7勝1KO5敗1分	8回戦	ウェルター級(日本ウェルター級10位・十二村選手と対戦)
6月5日(金)	後楽園ホール	今関 佑介	10戦4勝6敗	4回戦	東日本新人王トーナメント(フェザー級)
6月8日(月)	後楽園ホール	木村 章司	26戦22勝8KO2敗2分	10回戦	日本スーパーバンタム級タイトルマッチ(初防衛戦)
同	同	福島 学	46戦34勝19KO8敗4分	8回戦	フェザー級
同	同	花形 冴美	2戦1勝1KO1敗	4回戦	47.0kg契約
同	同	黒田 陽子	1戦1勝1KO	4回戦	アトム級
7月20日(月)	後楽園ホール	田畑 光輝	17戦9勝5敗3分	8回戦	Sフライ級(日本フライ級8位・藤井選手と対戦)
同	同	坂元 晶輝	3戦1勝2敗	4回戦	スーパーバンタム級
7月29日(水)	後楽園ホール	伊藤 圭太	16戦7勝3KO8敗1分	8回戦	56.8kg契約(日本Sバンタム級8位・塩谷選手と対戦)

※木村章司のチャンピオンカーニバル最優秀賞授賞式は5月19日(火)後楽園ホールで行われる。